

国道307号線における緊急輸送道路整備

国道307号は、緊急輸送道路としての役割も担っています。防災対策として整備を行うよう、代表質問、一般質問を通して長年訴えてきました。予算もつくようになり、徐々に整備が進んでいます。

1

国道307号(甘南備台)の改良工事

緊急輸送道路としての機能を保つと共に、車両等の円滑な通行を実現させるための整備。令和6年度は、用地買収、道路築造を実行中。



3

国道307号(郷之口)整備工事

新名神高速道路の宇治田原IC(仮称)のランプ部にあたり、新名神高速道路と一体的に整備する。令和6年度は、用地補償及び道路築造を実施。

2

山城大橋の耐震化工事

南海トラフ地震などの大地震が発生した際、路面に大きな段差が生じないようにする等の対策を講じる。令和6年度は橋脚の耐震補強工事を実施。

4

都市計画道路、宇治田原山手線(宇治田原町岩山~立川)整備事業

宇治田原山手線は、岩山から立川までの2.1kmが未整備。令和6年度は、調査、詳細設計を実施し、全線早期開通を目指す。



今年度の委員会が決まりました

常任委員会

政策環境建設常任委員会

総合政策環境部の所管及びそれに関連する事項と建設交通部の所管及びそれに関連する事項を担当する委員会です。

昨年に引き続き、**議会運営委員会**、**議会運営委員会議会改革検討小委員会**および**政策調整会議**の委員も務めます。

特別委員会

魅力ある地域づくりに関する特別委員会

大学の知と学生の力を取り入れた地域活性化、観光やスポーツを通じた様々な交流機会の拡大など、地域のポテンシャルの向上を目指した魅力ある地域づくりに関する施策について調査及び研究する委員会です。



北川たかし事務所に、お気軽にお立ち寄りください

皆さまのご意見・ご要望など聞かせてください。

北川たかし事務所 Takashi Kitagawa office

〒610-0313 京都府京田辺市三山木中央5丁目1-10 マンション竹長1F
TEL.0774-62-7889 FAX.0774-66-4601

office@kitagawatakashi.net http://www.kitagawatakashi.net



京都府議会議員

〈京田辺市・綴喜郡 選出〉

Takashi Kitagawa Activities Report

北川たかし [きたがわ 剛司]

府政活動レポート 第19号 2024.08



プロフィール

京田辺市三山木生まれ/奈良育英高校 卒/大阪電気通信大学 工学部 卒/神戸大学大学院 経営学研究科 修了/元(株)富士通神戸エンジニアリング 勤務/元 流通科学大学 非常勤講師 ラグビー部監督/元 関西大学 非常勤講師/(有)竹長 代表取締役/全日農 京田辺支部 委員長/NPO法人 幸せに生きる力を育む研究所理事/京都府議会議員
【資格】教育カウンセラー/産業カウンセラー/米国CTIコーチング(CPCC)/防災士/赤十字救急法救急員 など
【家族】妻、子ども2人 【趣味】スキューバダイビング/ラグビー

発行 北川 剛司 〒610-0313 京都府京田辺市三山木中央5丁目1-10 マンション竹長1F TEL.0774-62-7889 FAX.0774-66-4601



皆さまから多大なるご支援をいただき、府議会議員として10年目を迎えることができました。昨年度より、新しい会派を構成し、第二会派として議会活動を行なっております。会派の方針『府民の皆様の声に耳を傾け、政治家目線ではなく府民目線で。批判ではなく、しっかりと政策提言するスタイルで。新しい京都を作る』の下、昨年度は、定例議会ごとに府民の皆様の意見を、政府に対する意見書として議案提出してきましたが、残念ながら可決に至りませんでした。今年度こそは、他会派の賛成も得て、政府に届けられるよう尽力してまいります。

さて、令和6年能登半島地震の復興状況です。7月半ばに、妻の実家のある輪島市南志見地区に行ってきました。率直な私見ですが、輪島市内は、発災から7ヶ月も経っているのにほと

んど復興が進んでいません。能登半島の他の地域も同じ状態ではないかと思えます。道は凸凹で、崩壊した家で道路が塞がれている。山は崩れ、河川を堰き止めたダム湖の状態が多くある。車で移動している時もどこを通っているか分からないくらい、これまで見慣れた景色と異なる状況でした。多くの家は、倒壊したままの状態です。

私は、阪神・淡路大震災の際、神戸市東灘区で被災しましたが、能登半島地震より神戸市の復興が随分早かったと実感しています。一次避難所に避難している方も、まだ8,000人もいらっしゃいます。よく言われていることですが、日本は、大きな震災を何回も体験しているにも関わらず、災害対応が改善されていないと感じます。京都府だけの課題ではありませんので、府を通じて国に対しても働きかけてまいりたいと思います。

この他にも、取り組むべき課題はたくさんありますが、それぞれの課題に対して、より具体的に取り組みが進むように、皆さんの意見も伺いながら、府に対して提案できるように全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



京田辺市、井手町、宇治田原町を笑顔でイキイキと暮らせる地域にするために「革新」と「挑戦」で取り組みます。

京都府議会議員 北川 剛司

議会報告 2024年6月 一般質問 要旨まとめ

全ての質問、答弁は、ホームページに掲載します。
一般質問の様子は、インターネット中継をご覧ください。



1 ジェンダーギャップの課題について

質問 北川 本府のジェンダーギャップの現状に対する認識や、ジェンダー平等を実現するための具体的な取り組みについて。

また、男女の賃金格差解消や不平等解消に向けての企業への対策や支援策について、性別役割への固定観念を打破するために今後どのような対策を講じていくのか。

答弁はホームページをご覧ください。

2 農業所得に関する課題について

質問 北川 農業所得問題は、農業者の生活の質や農業の持続可能性に大きな影響を与え、特に小規模農家にとっては深刻な問題である。府内の農業者が安心して、安定的に農業を営めるよう施策を展開する必要がある。

(1) 農業者の所得低迷は、多くの市町村が取り組む移住定住対策にも大きな影響を与える可能性があるが、府内の農業者の所得が低迷している現状をどのように認識しているのか。

(2) 補助金の活用やブランド力の強化、スマート農業による効率化等については、大規模農業者等には有効な手立てとなる一方、小規模農業者では対応が難しいと考えるが、農業者の所得低迷問題に対し、今後どのように取り組んでいくのか。

回答 農林水産部長 農業所得に関する課題についてです。中山間地域を多く抱える京都府では、小規模農家が農業や農村を支える重要な担い手であり、これまで、所得確保に向け、京野菜など高収益作物への転換や、商談会を通じた販路開拓などの支援を実施してきました。

しかし、近年の肥料・燃油高騰による生産コストの上昇や、気候変動による自然災害の頻発化などが、農業者の経営を大きく圧迫しており、事業継続に向けた、さらなる経営力の強化が課題となっています。

京都府では、農業者が、様々な環境の変化に柔軟に対応できるよう、経営体質の強化を図る必要があると考え、省力・低コスト化による生産性の向上や、農産物の高付加価値化による販売価格の向上など、生産、販売の両面から収益力の強化に向けた支援が必要だと考えています。

生産面では、昨年度までの累次にわたる補正予算を活用し、肥料・燃油高騰対策として、土壌診断に基づく化学肥料の低減や、ヒートポンプ、保温カーテンなどの導入による省エネ

化への転換を進めるとともに、本年度は、昨年夏の記録的な猛暑を踏まえ、高温対策技術の指導や、かん水設備、遮光資材などの導入支援に取り組んでいます。

また、不足する労働力を地域の高齢者や障害者、子育て世代など多様な人材により確保し、経営強化につなげるため、繁忙期の作業委託や雇用環境の整備を支援する新たな制度を本年度に創設したところであり、経営基盤の強化を後押ししてまいりたいと考えています。

販売面では、万願寺とうがらしなど、小規模でも共同出荷・共同販売により高品質化・ブランド化を実現している品目の導入や、加工品の開発・販売などの6次産業化により商品の高付加価値化につなげる取組などを支援しています。

さらに、高機能性品種や有機農産物など、付加価値の高い商品の開発や商品化、販路の開拓などを進めるため、「京都食ビジネスプラットフォーム」を通じ、生産者や加工・流通事業者などの事業者グループによる新たなプロジェクトの取組を支援します。今後とも、農業者の経営規模に応じたきめ細やかな伴走支援を実施し、地域農業の活性化につなげてまいります。

1 児童・生徒の読解力の課題について

質問 北川 スマートフォンやタブレットの普及等により、子どもたちの読解力の低下が懸念される。今後、ICTの発達によるメール等での連絡の増加や、単純な作業がAIに取って代わられる未来が予想される中、これまで以上に読解力の向上が重要となると考える。

(1) 本府における児童生徒の読解力の課題をどのように認識しているのか。

(2) インターネット環境が充実し、ChatGPTをはじめとする生成AIも普及する中、本府の子どもたちの読解力の課題の解決に向け、どのような対策を講じ、子どもたちの学力向上と将来の可能性を広げていくのか。

(3) 府立清明高校の「学ぶ楽しさを提供する」とのミッションは、単に教科書の知識やスキルを身に付け、問題の答えや解き方を伝えるのではなく、「学ぶ楽しさ」を実感できることを大切にする考えであり、読解力不足の解消につながることから、全ての府立高校に取組を反映すべきと考えるがどうか。

回答 教育長 児童・生徒の読解力の課題についてです。急速に情報化が進む現代社会において、新しい価値を創造するためには、様々な情報を適切に読み取った上で、思考を深めたり、他者に分かりやすく伝える力が必要であり、こうした力は、学校における全ての学習の基盤となるものです。

そのような中、令和5年度全国学力・学習状況調査の国語科の結果によりますと、京都府においては、小・中学校ともに、「読むこと」及び「書くこと」に関する問題の平均正答率は全国を上回っている状況です。

一方で、様々なメモやグラフをもとに課題と解決策を記述する問題では、小学校の平均正答率が全国を下回っており、その要因としては、自分の考えが伝わるように書き表す力だけではなく、多くの情報の中から必要な情報を読み取り、その意味を理解した上で自分の考えに結びつける力にいわば課題解決型読解力に課題があると考えております。読解力の基盤となる力を「ことばの力」として定義し、言語を通して理解する力、論理的に考える力、表現する力、心を豊かにし学びに向かう力の総合的な育成に取り組んでいます。

具体的には、小・中・高等学校の全教科の教員を対象に、授業における言語活動を充実するための研修講座を実施するとともに、中学校2・3年生を対象に、授業を通じて育んだ「ことばの力」を表現する場として、「小論文グランプリ」を開催しています。

こうした取組や、学校・家庭・地域における読書活動を通じて、子どもたちの「ことばの力」を育み、質の高い学力の向上を図るとともに、子どもたちの感性や表現力、想像力を育んでいきます。

次に、学ぶ楽しさと読解力の関係についてですが、学習活動において、「できた」「わかった」という達成感や満足感を得ることは重要で、それが「学ぶ楽しさ」の本質ととらえています。これらの経験を通じて、生徒に自信が芽生え、それが自己肯定感へと成長し、次の新たな「学びに向かう力」を生み出していきます。

一方で、読解力も含めた学力を育成するためには、基本的な知識や技能の習得と、それらを活用して、自ら考えて判断したり、思考を深めたりすることも重要ですので、「学びに向かう力」とを両輪として「ことばの力」を全ての府立高校において総合的に育成してまいります。

令和6年4月23日、24日の会派視察より

Takashi Kitagawa inspection report 北川たかし 視察報告

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



今年の1月発災した能登半島地震や1995年の阪神・淡路大震災の教訓に生かすため、神戸市にある「人と防災未来センター」の視察を行いました。今後、起こりうる想定される、南海トラフ巨大地震や花折断層帯地震、また、豪雨による水害等に備える中で、京都府の危機対応能力の向上や、府民への周知、理解が一層重要であり、災害から身を守る知恵や行動を研究及び検証し、その対応策の普及・啓発が喫緊の課題であり、その参考にするための視察です。

今回視察した「人と防災未来センター」は、誰もが震災について理解し、共感できる魅力ある施設となっています。また、運営方法や防災・減災に対する日頃からの備えや、災害が起こった場合の初期対応やインフラ整備の重要性を実感できる施設です。そして、防災、減災対策における府民への発意を促す面からも大変参考となりました。

今年1月発災した能登半島地震や1995年の阪神・淡路大震災の教訓に生かすため、神戸市にある「人と防災未来センター」の視察を行いました。今後、起こりうる想定される、南海トラフ巨大地震や花折断層帯地震、また、豪雨による水害等に備える中で、京都府の危機対応能力の向上や、府民への周知、理解が一層重要であり、災害から身を守る知恵や行動を研究及び検証し、その対応策の普及・啓発が喫緊の課題であり、その参考にするための視察です。

京都府においては、府内や周辺を通る22の断層のうち、最も大きな被害をもたらす恐れがある「花折断層帯」を震源とする地震や、南海トラフ巨大地震が起きた場合の被害を想定し、府庁内に危機管理センターを設置するなど対策を行っています。しかし、市町村との連携及び市町村間の連携は、まだまだ不十分だと考えています。

代表質問でも質問しましたが、様々なツールを用いての情報発信の整備、周知徹底は急務であると再確認しました。また、京都府においては、防災体制を定期的に見直していますが、まだまだ課題は山積していると思います。今回の視察で得た知識、私の阪神・淡路大震災、能登半島地震の実体験から得た知見をもとに、市町村の連携強化も含めて課題解決の糸口を見つけ出し、府民の安心・安全に活かしてまいります。

